

令和6年度 教員の養成の状況についての情報

1 教員養成の理念と目標

(1) 鹿児島純心女子短期大学における教員養成の理念と目標

本学は「カトリック精神に基づく人格教育を行い、有為な人材を育成する」を教育理念としています。また建学の精神である「聖母マリアのように神様にも人にも喜ばれる女性の育成」に基づき、神と人とを尊ぶキリスト教ヒューマニズムに基づく人間教育を大学生活全般にわたって実践し、豊かな人間性と高い専門的能力を備えた女性を育成し、真の意味で社会の発展と平和に貢献できる人材を輩出することを教育目標としています。



本学の教職課程における教員養成の理念も、この教育目標を源とし、「豊かな人間性と高い専門的能力を備えた教員、真の意味で社会の発展と平和に貢献できる教員の養成」を目標に、本学が与えられた社会的・地域的使命に応えるべく、次世代を担う教育者を養成します。

(2) 各課程における教員養成の目標

ア 生活学科 こども学専攻

取得できる免許状 ⇒ 幼稚園教諭二種免許状

子どもの健全な成長・発達を支援するための知識・技術、及び子育ての支援に関する知識・技能を学修し、確かな倫理観・職業観を備え、地域社会に貢献できる幼稚園教諭の養成を目標とします。



イ 生活学科 食物栄養専攻

取得できる免許状 ⇒ 栄養教諭二種免許状

食に関する総合的、体系的知識と技能を学修するとともに、謙虚に学び続ける姿勢を持ち、責任感と教育的愛情を持って食育を推進し、地域社会に貢献することができる人間性豊かな栄養教諭の養成を目標とします。



ウ 英語科

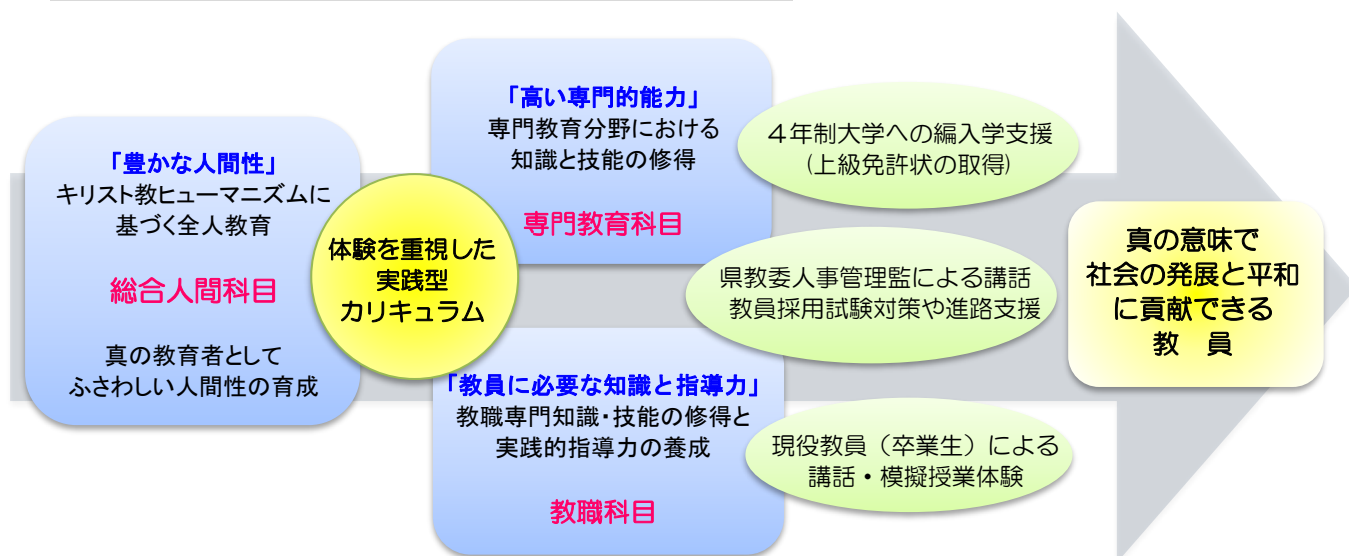
取得できる免許状 ⇒ 中学校教諭二種免許状 外国語（英語）

国際的センスや異文化間コミュニケーション能力を磨くとともに、英語教育に対する情熱や使命感、教育的愛情に溢れた豊かな人間性と教科指導、生徒指導等に関わる実践的な指導力を兼ね備えた中学校英語教諭の養成を目標とします。



2 鹿児島純心女子短期大学における教員養成のプロセス

(1) 教職課程の構造および教員養成支援体制



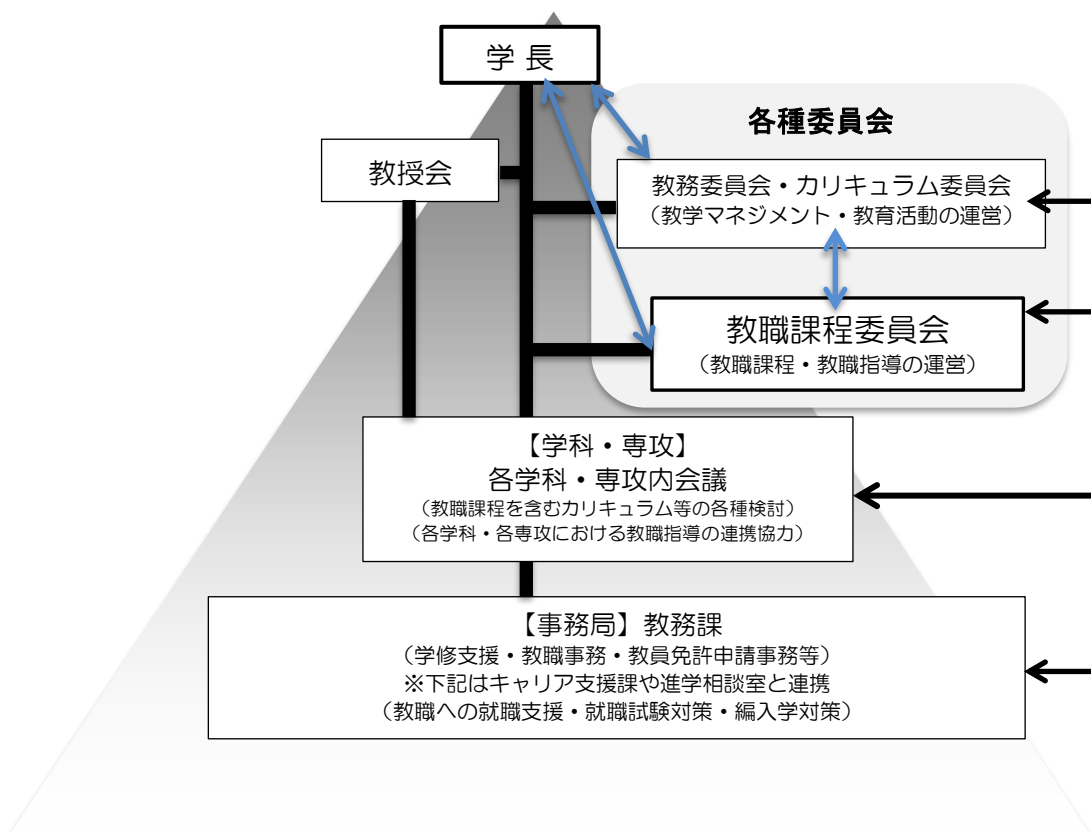
(2) 教員養成・教職指導に係る学内組織

①教員組織及び教員数

⇒「**教育情報・統計情報**」をご参照ください。

<https://www.k-junshin.ac.jp/juntan/about/joho/>

②教員組織の概要・役割分担、各種委員会



(3) 教員養成に係るカリキュラム

① 生活学科 こども学専攻

ア 概要

取得できる免許状 ⇒ 幼稚園教諭二種免許状

「こども学」だからこそできる 体験的な学びで子どもを笑顔にする幼稚園教諭に

本学のこども学専攻では、子どもの保育・教育について必要とされる知識や技術を実践的に学び、「幼稚園教諭二種免許状」と「保育士資格」の両方を取得し、地域社会に貢献できる幼稚園教諭の養成を行なっています。

特に、体験的な学びを重視し、実習以外にも「純心こども講座」「チャイルドウォッチング」等の子どもと直接かかわる機会を設けています。その中で子ども観・保育観（教育観）を深め、生涯にわたり子どもを探究し続ける幼稚園教諭を育てます。



イ 各年次における目標と計画【2024 年度入学生カリキュラム】

特色	○人間愛に満ちた保育者を育成 ○体験を通して感じる学び ○“好き”を学びにプラスαの学び ○「地の強み」を生かした学び
1 年 前期	基礎を作る・子ども観を育む 「保育・教育課程総論」、「保育の心理学」で基本理論を、「こどもと表現（音楽）」、「こどもと表現（造形）」、「保育内容（表現）の指導法Ⅱ（リズムあそび）」、「保育内容（表現）の指導法Ⅲ（ピアノ表現Ⅰ）」で保育の理論や指導法について学び、「こども学フィールドワークⅠ・Ⅱ・Ⅲ」での実践を通して子ども観を育みます。保育者・幼稚園教諭としての基本を身に付けます。 「こども学フィールドワークⅠ・Ⅱ・Ⅲ(通年)」「こどもの保健」「保育の心理学」「乳児の保育Ⅰ」「特別支援教育・保育」「社会福祉」「保育原理」「こどもと絵本Ⅰ」「こどもと絵本Ⅱ」「保育内容(表現)の指導法Ⅱ(リズムあそび)」「保育内容(表現)の指導法Ⅲ(ピアノ表現Ⅰ)」「こどもと表現(音楽)」「こどもと表現(造形)」「ビジネス文書演習」「保育・教育課程総論」
1 年 後期	理論をもとに実践へ 最初の実習である「幼稚園教育実習Ⅰ」を実施します。「幼稚園教育実習指導Ⅰ」で指導案の立案や記録の取り方など、実習に向けて具体的に学ぶと共に、「教育原理」「幼児教育の方法と技術」など、専門的な科目にも多角的に取り組み、理解を深めていきます。 「こども学概説」「こども学フィールドワークⅠ・Ⅱ・Ⅲ(通年)」「こどもの健康と安全」「こどもの理解と援助」「教育原理」「社会的養護Ⅰ」「こどもとことば」「保育内容(表現)の指導法Ⅳ(ピアノ表現Ⅱ)」「コンピュータ基礎演習」「幼児教育の方法と技術」「保育実習指導Ⅰ(保育所)」「保育実習指導Ⅰ(施設)」「保育実習Ⅰ(保育所)」「保育実習Ⅰ(施設)」「幼稚園教育実習指導Ⅰ」「幼稚園教育実習Ⅰ」
2 年 前期	実習を重ねて、実践力を充実 実習を重ねることで、授業での学びと実習現場での体験を関連づけ、次の実習に向けてさらに指導力を充実させていく時期です。実習先での現場教員・保育者からの指導や学びと共に、学内では「こどもと健康」、「こどもと環境」、「保育者論」などを学び、保育者・幼稚園教諭として必要な知識をさらに深め、実践力を高めます。 「保育キャリアデザイン」「こども学研究(通年)」「こどもと健康」「乳児の保育Ⅱ」「こどもと環境」「こども家庭福祉」「こども家庭支援の心理学」「社会的養護Ⅱ」「保育内容(言葉)の指導法(絵本の読み聞かせ)」「こどもと絵本Ⅲ」「ピアノ実践法」「保育者論」「保育実習指導Ⅱ(保育所)」「保育実習指導Ⅲ(施設)」「保育実習Ⅱ(保育所)」「保育実習Ⅲ(施設)」「幼稚園教育実習指導Ⅱ」「幼稚園教育実習Ⅱ」
2 年 後期	理論と実践の統合 講義と実践で得た学びを統合し、社会に貢献できる保育者・幼稚園教諭となるための仕上げの時期です。「保育内容総論」や「保育・教職実践演習(幼稚園)」などで総合的な保育観を培い、「こども学研究」においてそれぞれのグループ毎に卒業研究として学びの成果をまとめます。 「こども学研究(通年)」「こどもの食と栄養」「こどもと人間関係」「幼児理解と教育相談」「障がい児保育」「子育て支援」「保育内容総論」「こども家庭支援論」「保育とメディア」「保育内容(表現)の指導法Ⅰ(工作による表現)」「ピアノ表現法」「からだを動かすあそび」「保育・教職実践演習(幼稚園)」

② 生活学科 食物栄養専攻

ア 概要

取得できる免許状 ⇒ 栄養教諭二種免許状

栄養・食を通じて健康を支える実力がある

栄養教諭を目指します

栄養教諭は、各学校における食育指導体制の要として重要な役割（学校給食における栄養や衛生管理、学校給食の運営、児童・生徒の食育やアレルギーへの対応など）を担います。栄養教諭になるためには栄養教諭免許状取得のための教職課程の履修と基礎資格である栄養士免許の取得が必要です。

食物栄養専攻は、栄養士としての総合的・専門的知識と技能を身に付けると同時に、責任感と教育的愛情を持って食育を推進し、地域社会と協働できる栄養教諭の養成を行なっています。



イ 各年次における目標と計画【2024 年度入学生カリキュラム】

特色	○充実した施設で養う高い専門性と実践力 ○豊かな学びで育む思いやりと行動力 ○主体性と責任感をもって協働する力の育成
1 年 前期	基本的な知識と技術を学ぶ 調理学・栄養学・食品学・食品衛生学など、食と健康に関する様々な分野について基礎を学び、栄養士に必要な知識と技術の基本を固めるとともに栄養教諭に必要な学校における栄養教育の基本的知識や教職の役割・意義・教育法規などについて学びます。 「人の体の仕組みと化学Ⅰ」「解剖学」「食品学総論」「食品衛生学」「栄養学総論」「栄養指導論Ⅰ」「調理学」「調理学実験」「基礎調理学実習Ⅰ」「ビジネス文書演習」／『学校栄養教育論』『教職の意義と内容』『教育の制度と歴史』『教育の方法・技術』
1 年 後期	知識と技術を広げて深める 食品や栄養に関する講義や実験、実習等を通して、前期に学んだ専門性を深めます。栄養士就業現場での実習に向けて準備を進めるほか、『学校栄養指導演習』において学校での具体的な栄養指導を学び、教職科目において道徳や生徒指導について学んでいきます。 「公衆衛生学」「人の体の仕組みと化学Ⅱ」「生理学」「食品学実験」「応用栄養学」「応用栄養学実習」「臨床栄養学総論」「栄養情報処理Ⅰ」「給食管理」「給食管理デザイン」「基礎調理学実習Ⅱ」「インターンシップⅠ・Ⅱ」／『学校栄養指導演習』『教育課程論』『道徳教育の理論と実践』『生徒・進路指導論』
2 年 前期	現場で実践して体験から学ぶ 学内・学外(病院や福祉施設、学校等)で実施する「給食管理実習」を通して、栄養士としての実践的知識や技術を修得し、柔軟な人間性を育みます。また「栄養教育実習」では学校現場で教育実習を行い、栄養教諭として必要な指導力や知識、技術を修得します。実習での学びに加えて「臨床栄養学」「生化学」「栄養情報処理」など、専門的知識と技術を段階的に修得していきます。 「生化学」「食品学各論」「食品衛生学実験」「食品加工学」「臨床栄養学各論」「臨床栄養学実習」「栄養指導論Ⅱ」「栄養情報処理Ⅱ」「給食管理実習Ⅰ(校内)」「給食管理実習Ⅱ(校外)」「学校給食管理実習(校外)」「給食管理実習事前指導」「応用調理学実習Ⅰ」／『教育心理学』『特別支援教育論』『総合的な学習の時間の指導法』『特別活動論』『栄養教育実習Ⅰ』『栄養教育実習Ⅱ』
2 年 後期	即戦力となる知識と技術を仕上げる 各専門分野について総括するとともに、応用力を身に付け、栄養士実力認定試験(12月)を通して、栄養士として必要な資質の完成を目指します。「教職実践演習(栄養教諭)」において、教育実習での体験と授業での学びを統合し、栄養教諭として必要な専門的知識・技術・指導力を統合します。 「社会福祉」「有機化学」「解剖生理学実験」「運動生理学」「生化学実験」「食品微生物学」「食品加工学実習」「食と健康」「栄養指導論実習」「公衆栄養学」「応用調理学実習Ⅱ」「栄養士スキルアップ講座」／『教育相談』『教職実践演習(栄養教諭)』

③英語科

ア 概要

取得できる免許状 ⇒ 中学校教諭二種免許状 外国語（英語）

グローバルな視点を持って地域の発展に 貢献する国際性豊かな人材を育成します

1979年の創設以来、本学独自の「体験的英語教育」を実践し、文法訳読中心の教育方法が主流だった時代に先駆けて「生きた英語が使える国際性豊かな人材」を育ててきました。

英語科は、国際感覚や人間性を培う海外研修、留学等や多彩な講師陣による充実したカリキュラムによって、英語力・キャリア力・人間力を高め、英語教育に対する情熱や使命感、教育的愛情に溢れた豊かな人間性、教科指導・生徒指導等に関わる実践的な指導力を兼ね備えた中学校英語教諭の養成を行なっています。



イ 各年次における目標と計画【2024年度入学生カリキュラム】

特色	○生きた英語を身に付ける ネイティブ教員の All English の授業、海外研修、留学、国際交流等で使える英語を徹底的にマスターします。 ○総合的人間力を身に付ける 国際交流、ボランティア、インターンシップ、英語ミュージカル等の発表活動、海外研修や留学、教育実習などを通して、バランスの取れた豊かで魅力あふれる人間力を磨きます。 ○実践的なキャリア力を身に付ける 情報処理や希望するキャリアに合わせた専門教育科目と教職科目を強化し、インターンシップや教育実習で実際の職場や教育現場を経験。勤労への理解や就職活動・教員採用試験への意欲を高め、幅広い職種に対応できる実務能力を高めます。
1 年 前期	All English の世界に飛び込もう！ 【専門教育科目】「インテグレイティブイングリッシュⅠ」「トピックリーディングⅠ」「アクティブイングリッシュⅠ」「イングリッシュグラマー」「英語音声学」「アカデミックリーディング」「JEB ベーシックス」「英検・TOEIC 演習」「インターンシップ」「エアラインスタディーズ」「秘書実務Ⅰ」「Microsoft Office Ⅰ」「人間関係論」 【教職科目】「英語科教育法Ⅰ」「教職の意義と内容」「教育の制度と歴史」「教育の方法・技術」
1 年 後期	英語&キャリアの基礎を仕上げよう！ 【専門教育科目】「インテグレイティブイングリッシュⅡ」「トピックリーディングⅡ」「アクティブイングリッシュⅡ」「異文化理解」「ジャパニスタディーズ」「グローバルスタディーズ」「海外研修」「国際交流ボランティア」「エアラインホスピタリティ」「ホテル・ツーリズムスタディーズ」「秘書学概論」「Microsoft Office Ⅱ」「表現技術」 【教職科目】「英語科教育法Ⅱ」「教育における ICT 活用」「教育課程論」「道德教育の理論と実践」「生徒・進路指導論」
2 年 前期	身に付けた力を実践で試そう！ 【専門教育科目】「ディスカッションスキルズ」「エアライン・カスタマーサービス英語」「グローバル化と環境問題」「世界地域研究」「世界遺産研究」「現代社会研究」「フランス語会話Ⅰ」「韓国語会話Ⅰ」「中国語会話Ⅰ」「イングリッシュミュージカルⅠ」「秘書学概論」「秘書実務Ⅱ」「デジタルコンテンツクリエーション」 【教職科目】「教育心理学」「特別支援教育論」「総合的な学習の時間の指導法」「特別活動論」「教育実習の研究」「教育実習」
2 年 後期	英語力・人間力の花を咲かせよう！ 【専門教育科目】「ディベート」「ビジネスライティング」「英語で案内する鹿児島」「フランス語会話Ⅱ」「韓国語会話Ⅱ」「中国語会話Ⅱ」「イングリッシュミュージカルⅡ」「英文学概論」「英語学概論」「TOEIC 演習」「メディアトランスレーション」「JEB プロジェクト」「海外留学」「国際秘書概論」「マナーとプロトコル」「情報社会とデータ」 【教職科目】「教育相談」「教職実践演習(中)」

3 教員養成に関わる教員および担当科目一覧

(1) 教員の経歴、専門分野、研究実績

⇒ 「教育・研究スタッフ」にてご参照ください。

<https://www.k-junshin.ac.jp/juntan/cust-staff/>

(2) 科目の授業内容（シラバス）

⇒ 「教育情報」の「5 授業科目、授業の方法及び内容等について」の

「4. シラバス検索」にてご参照ください。

<https://www.k-junshin.ac.jp/juntan/about/joho/>

(3) 令和6年度 教職課程担当教員一覧

所属	職名	教員氏名	主な担当科目名
生活学科	教 授	今林 俊一	保育の心理学、教育心理学、生徒・進路指導論、教職実践演習(中)、教職実践演習(栄養教諭)、保育・教職実践演習(幼稚園)
	教 授	河野 一典	道德教育の理論と実践
	教 授	高田 さとこ	こどもと表現(造形) 保育内容(表現)の指導法Ⅰ(工作による表現)
	教 授	益満 孝一	特別支援教育・保育、特別支援教育論
	教 授	榊 順子	学校栄養教育論、学校栄養指導演習 栄養教育実習Ⅰ・Ⅱ、教職実践演習(栄養教諭)
	准教授	大迫 貴	こどもと表現(音楽)、保育内容(表現)の指導法Ⅲ(ピアノ表現Ⅰ)、 保育内容(表現)の指導法Ⅳ(ピアノ表現Ⅱ)
	准教授	中島 賢太郎	教育原理、教育課程論、特別支援教育論、総合的な学習の時間の 指導法、特別活動論、特別支援教育・保育、 幼稚園教育実習Ⅰ・Ⅱ、保育・教職実践演習(幼稚園)、
	准教授	味園 佳奈	こどもと人間関係、こどもと環境、保育者論、保育・教育課程総論、 幼児教育の方法と技術、幼稚園教育実習指導Ⅰ・Ⅱ、 幼稚園教育実習Ⅰ・Ⅱ、保育・教職実践演習(幼稚園)、
	准教授	森木 朋佳	こどもとことば、保育内容総論、 保育内容(言葉)の指導法(絵本の読み聞かせ)
	講 師	大竹山 なつき	幼児理解と教育相談、教育相談
英語科	講 師	本屋 梨紗	こどもと健康
	教 授	有馬 義秀	教職の意義と内容、教育の方法・技術、英語科教育法Ⅱ、 教育実習の研究、教職実践演習(中)、教職実践演習(栄養教諭)
	教 授	堀江 美智代	異文化理解、英語科教育法Ⅰ、教育実習、 教職実践演習(中)、イングリッシュグラマー、教育における ICT 活用
	教 授	永正 理恵子	英語学概論、英語音声学
	教 授	小玉 智治	英文学概論
	教 授	小田 智代	イングリッシュグラマー
	准教授	グレン・フォーブス	インテグレイティブイングリッシュⅠ
非常勤講師	講 師	デビッド・オーコナ	インテグレイティブイングリッシュⅠ
		古賀 政文	特別支援教育・保育、特別支援教育論
		栗原 真孝	教育の制度と歴史
		嘉野 美津子	保育内容(表現)の指導法Ⅲ(ピアノ表現Ⅰ)、 保育内容(表現)の指導法Ⅳ(ピアノ表現Ⅱ)
		井ノ上 綾香	保育内容(表現)の指導法Ⅲ(ピアノ表現Ⅰ)、 保育内容(表現)の指導法Ⅳ(ピアノ表現Ⅱ)
		萩原 香織	保育内容(表現)の指導法Ⅱ(リズムあそび)

4 卒業者の教員免許状の取得の状況

学科・専攻	取得免許	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度
生活学科 こども学専攻	幼稚園教諭 二種免許状	34名	44名
生活学科 食物栄養専攻	栄養教諭 二種免許状	5名	9名
英語科	中学校教諭 二種免許状(英語)	4名	3名

5 卒業者の教員への就職の状況

学科・専攻	取得免許	令和4(2022)年度		令和5(2023)年度	
		公立	公立	公立	私立
生活学科 こども学専攻	幼稚園教諭 二種免許状	0名	18名*	0名	30名*
生活学科 食物栄養専攻	栄養教諭 二種免許状	0名	0名	0名 (1名)	0名
英語科	中学校教諭 二種免許状(英語)	1名	0名	1名	0名

()：臨時的任用教員としての採用数 / *：幼稚園・認定こども園への就職者の合計数

6 教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組

(1) 卒業生による体験発表会（教職）

現任教員として活躍する卒業生から学生時代の取組みや教員採用試験対策、教育現場での体験談、教員を目指す上でのアドバイス、授業の工夫等を含めた体験発表会を実施します。

(2) 県教委人事管理監による講話

鹿児島県教育庁教職員課の人事管理監から社会から求められている教員の資質や知識、技能等、教員採用試験の状況等について詳しく講話をしていただきます。

(3) 教員採用試験対策セミナー

「鹿児島県公立学校教員採用選考試験」を中心に試験対策を行っています。

(4) 学習力・編入学支援

四年制大学へ編入し、一種免許状の取得をめざす人のために編入学入試対策を実施しています。

(5) 教職課程にかかるFD・SD活動等

教職課程の質の維持・向上を目的とした教職員の研修を行っています。

(6) 鹿児島県教員資質向上協議会への参画

鹿児島県教育委員会主催の「鹿児島県教員資質向上協議会」へ参画し、「かごしま教員指標」に基づく教員の資質向上に関する協議や意見交換を行い、教員養成校として教育委員会との連携を図っています。

(令和6年10月1日現在)